

# 大江山地域実行計画案にいただいたご意見と回答

ご意見	回答
計画検討の進め方・考え方について	
インターネットやメールなど、自由に意見ができるようにしてほしい。また、今回の計画をWSだけで決めないでほしい。	大江山地域に全戸配布した広報紙を通じて、インターネットや電話、FAXを活用して、WSに参加していない方からも意見を伺う場を設けました。また、WSのほか、コミュニティ会議やパネル展示型説明会にて、老人憩の家や大江山農村環境改善センターの利用者などからご意見をいただきました。このように、さまざまな手法でご意見をいただいたうえで、市が大江山地域実行計画を策定しました。
WSの参加者は高齢者が多く女性や若者が少ない。選定の基準はどうか。	市としてWS参加者の選定基準は、高校生以上で大江山地域に在住している方としています。大江山地域でのWSの参加者は、コミ協や自治会のほか、各学校のPTA、保育園関係者、老人クラブ、施設利用者、地域包括センターなどにお声がけをしました。また、広報紙にて参加者の公募を行い、高校生の参加もありました。
WSの参加者には施設がわからない方もいるようだが、WS開催は市の方針を前提としたアライバイ作りではないか。	公共施設の運営経費は、利用する方からの「使用料(受益者負担)」と、納税者の皆さんの「税金(公費負担)」で賄っています。したがって、施設の利用者だけでなく、地域住民の方々から広くご意見を伺う必要があります。また、実行計画の策定はWSだけで決めるものではなく、WSのほか、コミュニティ会議、パネル展示型説明会、広報紙など、広く意見をいただき、市が策定しました。
公共施設を減らすことを考えるのではなく、ふるさと納税や企業誘致など、税収が増えるような対策を考えるべきではないか。	ご意見のとおり、少子高齢化の進展による社会保障費の増大や労働人口の減少などに対応すべく、今後も厳しい財政状況が予想され、ご指摘いただきました税収増や歳出の拡大に取り組んでいます。一方で、今後も厳しい財政状況が予想される中、昭和50年代に整備された施設が多く、既存の施設を現状の規模で維持修繕・建て替えることは困難な状況であり、今後は需要に合わせて施設の見直しを図り、支出を抑えていくことも重要です。今後も、税収等の歳入増加と支出削減の両輪で取り組みを進めていきます。
農改センター・公民館について	
ほかのコミュニティ施設などは設備が整っているものもあるので、農改センターも整えてほしい。	施設改修の内容については、今後、地域と話し合いながら検討していきます。
公民館の講座などについても検討してもらいたい。	今後の公民館のあり方の検討にあわせて、農改センターで行われる講座なども検討していきます。
老人憩の家について	
老人憩の家は、老人クラブ活動の拠点として活用しており、身近な施設をなくさないでほしい。また、災害時に風呂が使えるように、老人憩の家を存続させてはどうか。	「新潟市公共施設の種別ごとの配置方針」で、老人憩の家は施設・設備の補修は必要最低限とし、老朽化や利用率が著しく低い施設は地域の拠点施設へ機能を移転した段階で廃止することとしています。高齢者人口が年々増加している一方で、大江山地域の両老人憩の家の利用者は減少していることから、地域のみなさんと検討する中で、高齢者等が利用しやすいよう、農改センターをバリアフリーへの配慮や自由に利用できる交流スペースの整備など、地域のニーズに合わせて改修した上で機能移転を進めていくこととしました。それにより、同施設の利便性や拠点性が向上するものと考えています。ぜひ、老人クラブの活動拠点としても活用してください。また、お風呂についても、入浴設備の更新はしないこととしていますが、入浴設備の修繕が困難となるまでは、大切に使用していくこととしています。なお、災害時の入浴施設について、スポーツ施設のシャワー室など、その時にある公共施設の利用や民間施設との連携などで対応していきますので、その際に、老人憩の家の安全性や風呂機能が使える状態が確認できれば、入浴施設のひとつとして活用することを検討します。
老人憩の家の廃止について、WS参加者以外の住民の意見を聴く機会があったのか。	老人憩の家の利用者への聴き取りや、広報紙、パネル展示型説明会などを通じて幅広く意見の募集を行いました。老人憩の家の利用者からは「歩いて行ける場所に集まれる施設があるのは便利」という評価がある一方で、「下の世代(75歳以下)が使わないので、自分たちが使わなくなったら廃止されるのは仕方がない」というようなご意見がありました。市の配置方針やそうした意見を踏まえ、老人憩の家は早急な廃止をせず、風呂機能が修繕困難になるまで、使っていくこととしています。
避難所について	
能登半島地震を受けて、体育館の暖房設備など、各避難所を充実してもらいたい。	小中学校における体育館の空調設備については、現在設置の計画はありませんが、避難所においては、従来の体育館といった避難スペース以外の普通教室などを避難者の状況によって早期から解放することとしていることから、空調設備が整備されているスペースへ誘導するなど避難所運営関係者と連携しながら対策を講じてきます。

お問い合わせはこちらまで 大江山地域実行計画コミュニケーション事務局

電話 025-382-4619 郵便 〒950-0195 江南区役所地域総務課あて(住所不要)

FAX 025-381-7090 MAIL chiikisomu.k@city.niigata.lg.jp

## 新潟市 財産経営NEWS 広報紙 第8号



大江山地域実行計画案報告会の様子

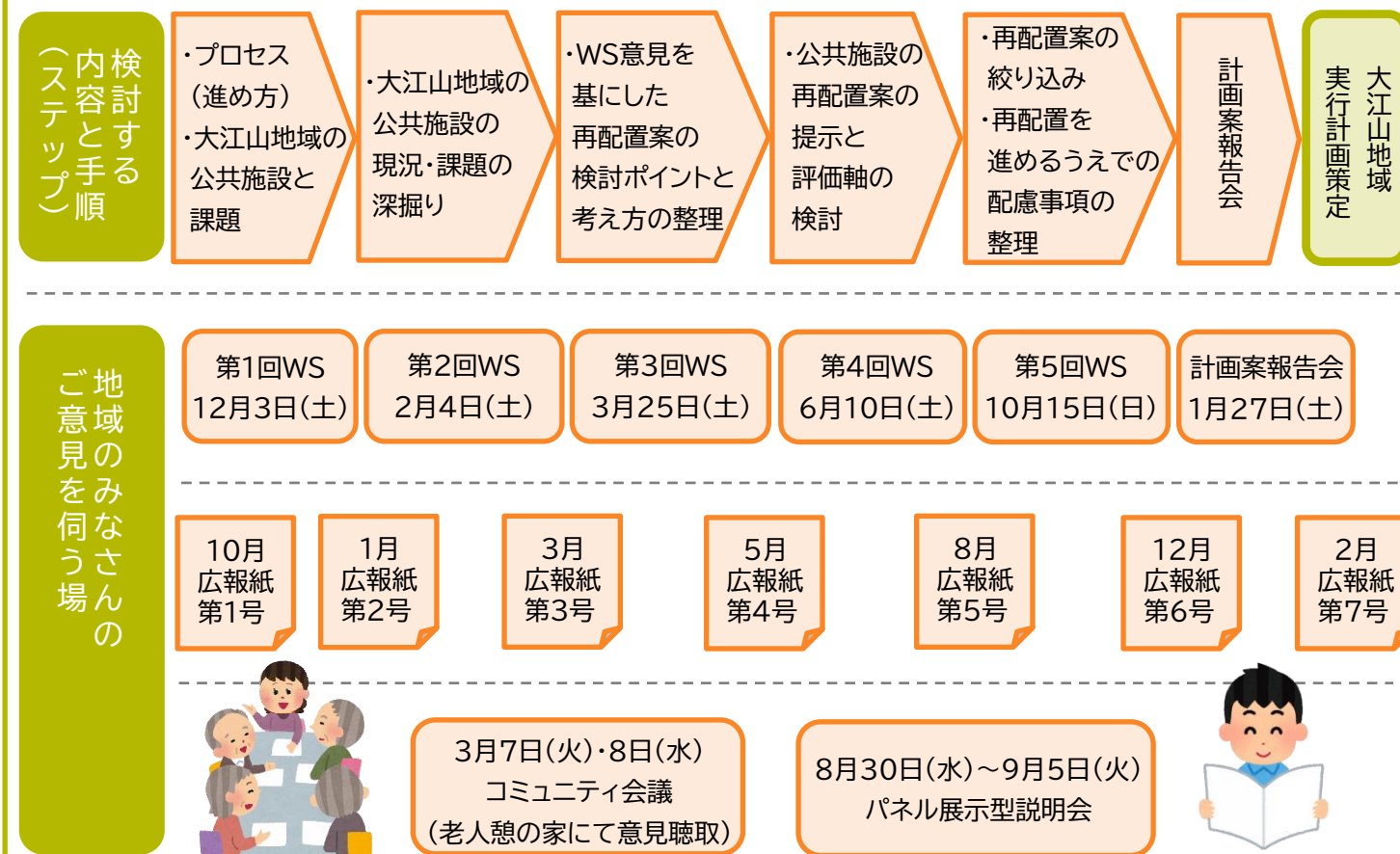
# 一緒に考えませんか？公共施設のこれからを／大江山地域のまちづくり

<発行者>大江山地域実行計画コミュニケーション事務局 令和6年4月発行  
(江南区地域総務課: ☎025-382-4619 財務部財産活用課: ☎025-226-2387)

少子超高齢化社会などに対応し、将来世代に過度な負担を強いることのないように、市有財産の効率的な管理・利活用を図っていくための方針を定めた「財産経営推進計画」。この計画に基づき、大江山地域のみなさんと地域の公共施設の将来について検討を重ね、この度「大江山地域実行計画」を策定しました。

## さまざまな検討手法でみなさんからご意見をいただきました

「大江山地域実行計画」(2、3ページ)の策定は、令和4年12月にスタートした全5回「ワークショップ(WS)」をはじめ、「広報紙」、「コミュニティ会議(老人憩の家での意見聴取)」、「パネル展示型説明会」、「大江山地域実行計画案報告会」にて、地域のみなさんから意見をいただきながら、約1年間検討を重ねて策定しました。



図－大江山地域実行計画策定までの検討手法と流れ

報告会の概要 開催日時 令和6年1月27日(土)午前9時30分～10時30分 会場 大江山農村環境改善センター

参加者 20人 資料 当日の資料は市ホームページ(右の二次元コード)に掲載しています



【背景】

大江山地域では、地域の活動拠点である大江山農村環境改善センター(農改センター)が大規模改修などの目安とされる築40年を越えたことをきっかけに、実行計画の検討に着手し、令和4年12月から翌年10月にかけて開催された全5回のワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。

【再編の実施時期】

老人憩の家の機能移転、大江山地区図書室の廃止は、農改センターの整備に合わせて行います。各集会所は、農改センターの整備前から各自治会と調整します。  
今後の詳細な検討や財政状況などにより、再編時期や内容について適宜見直しを行います。

## 計画の概要

### 【コンセプト】現在の農改センターを最大限活用しながら、多世代交流を図る

<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農改センターに親子や高齢者の居場所機能や学習スペースなど、新たな機能を整備し、現在の施設規模を維持したまま大規模改修を実施</li> <li>● 大江山地区図書室は、予約本受取サービス※を連絡所に移転。農改センターの整備に合わせ、図書室を廃止</li> <li>● 老人憩の家のコミュニティ機能(貸室機能や地域の方の居場所機能)は農改センターに移転。風呂機能は補修困難になった時点で廃止</li> <li>● 4つの集会所は現状の利用状況に合わせたあり方に見直し、その後の使い方を自治会と協議</li> </ul>	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の拠点である農改センターを親子・若者・高齢者が使いやすいように整備することで、多世代交流が期待できる</li> <li>● 老人憩の家のコミュニティ機能の移転や予約本受取サービスの実施などにより、必要なサービス機能の維持と将来世代の負担軽減が図られる</li> </ul>
--	---

※予約本受取サービス:本市図書館が所蔵する本を予約手続きをすることで連絡所の窓口で借りられるサービス



## 再編のスケジュール

施設名	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	中・長期
大江山農村環境改善センター	構想の検討、設計		工事	リニューアルオープン	利用状況に合わせ施設の見直し	
大江山連絡所	存続					-
大江山公民館	公民館のあり方について継続検討					-
大江山地区図書室	予約本受取サービスを連絡所に移転	→	→	→	廃止(予約本受取サービスは継続)	-
老人憩の家 大江山荘 老人憩の家 大淵荘	風呂機能が補修困難になった時点で風呂機能を廃止し、コミュニティ機能を農改センターに移転 (農改センター整備前に風呂機能が補修困難になった場合、その時点で風呂機能を廃止。コミュニティ機能は農改センター整備終了まで存続し、その後コミュニティ機能を農改センターに移転)					-
大江山保育園※	受入停止	→	閉園	-	-	-
蔵岡集会所 西野集会所 丸山集会所 茗荷谷集会所	現状の利用状況に合わせたあり方に見直し、その後の使い方は自治会と協議					-

※「新潟市立保育園配置計画」に基づき、令和7年度末に大江山保育園を閉園(令和5年度、近隣に民間の認定こども園が開園)

## その他の施設の方針

丸山小学校 大淵小学校	存続
大江山中学校	[学校のあり方については、将来の児童・生徒数の状況を踏まえながら、必要に応じて地域とともに検討]
丸山ひまわりクラブ 大淵ひまわりクラブ	存続 [ひまわりクラブは学校のあり方に合わせる]

※スケジュールはおおよその見込みを示したものであり、再編を実現していく中でスケジュールは前後する場合があります

計画を実施するにあり、下記の事項に配慮しながら再編を進めます。

- 農改センターのコミュニティセンターへの移行について
- 大江山地区図書室廃止後の現在図書室にあるこども用図書などの活用について